（様式４）

令和5年 月 日

「ESGファイナンス・アワード・ジャパン事務局」　殿

 申請者 住所

 氏名　法人の名称

 　　代表者の役職・氏名

第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン応募申請書
（資金調達者部門）

１．応募の名称

※　対象事例を踏まえて、提案事業の名称を記載してください。

「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

２．応募者概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企業・団体 | 企業・団体名 |  |
| 代表者名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 代表電話番号 |  |
| 担当者 | 氏名(ふりがな) |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |
| 連名の場合 | 社名１ |  |
| 社名２ |  |
| 社名３ |  |

３．ガバナンス体制

1. 自社・自団体および子会社等において、法令違反や重大な懸念事項を有していないことを確認していますか。
※2022年度から2023年度の応募締切までに、法令違反や重大な懸念事項が生じていないことが応募の要件となります。詳細は募集要項の６.募集期間・応募方法（２）応募対象・資格をご確認ください。

※応募申請書提出後に上記に該当する事案が発生した場合は、すみやかに事務局までご申告ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 確認している | □ | 確認していない |

1. 財務の健全性確保や、法令違反や重大な懸念事項を回避するためのガバナンス体制を構築していますか。構築している場合は、そのガバナンス体制について記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 構築している | □ | 構築していない |

“構築している”に**✔**をした場合にはガバナンス体制について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

4．取組内容

【目標・戦略・フレームワーク】

|  |
| --- |
| 表彰対象となる取組の概要* 日本の金融市場にインパクトを与えることを目的とした取組の資金調達において、ESG関連の債券や融資等を活用し、関連市場の拡大に貢献している事例や資金調達者の取組
 |

※応募内容は、”E”（環境）を中心に10～15枚以内での記載をお願いいたします。なお、フォーマットは以下に限定せず、設問に記載の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

※個別の取組を評価する特別賞を設けております。そのため、全事項を記載できない場合でも、積極的にご応募ください。

※インパクトについては、環境省が2020年7月に取りまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」をご参照ください。（インパクトファイナンスの基本的考え方：<http://www.env.go.jp/press/files/jp/114284.pdf>）

1. 資金調達を行うにあたり資金使途の対象となる事業や設定した中/長期の目標等に関連する環境課題等が資金調達者の戦略、長期ビジョン等にどのように位置づけられているか、自社のインパクト戦略（環境・社会・経済に対しどのようなポジティブインパクトを発現・増大していくのかという狙い）を策定されているか、記載してください。

|  |
| --- |
|  |

資金調達に関するフレームワーク等があればその内容について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 資金使途の対象となる事業等により実践される取組が継続されるための実効性のある取組計画が策定されているか、また仕組みや体制づくり、ステークホルダーとの連携について、記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ③を踏まえ、設定した目標や取組計画に対する進捗状況について記載して下さい。また、それらを開示している場合は、開示先について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. 対象事業・プロジェクト及び設定した中/長期目標に対する進捗状況及びインパクトについて開示している箇所を具体的に記載してください。また、その更新頻度についても記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目１ |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目２ |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

1. 設定した中/長期目標や計画の進捗についてどのようにモニタリングをしているか、また、目標や計画と進捗に差異がある場合の対応方針を定めているか記載してください。加えて、その方針について開示している箇所を具体的に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| モニタリング方法・差異がある場合の対応 |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

1. 今回の資金調達を含む投資計画について開示している箇所を具体的に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

【体制・実績】

1. 申請した事例により調達した金額及び長期借入金と社債残高の合計に占める割合を記載してください。
（対象事例の金額が占める長期借入金と社債残高の合計値に対する割合で評価を行います。）

|  |  |
| --- | --- |
| 調達額（※１） |  |
| 長期借入金と社債残高の合計（※２） |  |

※１複数事例が対象となる場合は、その合計額と個別事例ごとの金額をそれぞれ記載してください。

※２対象事例により資金調達した年/年度の額を記載してください。複数事例の場合はそれぞれの対象年で記載してください。

【インパクト】

1. 申請した事例により創出されると想定される/創出されたインパクト、あるいは設定した目標について具体的に記載してください。インパクトに関しては、本資金調達による追加性（アディショナリティ、もしその事業が行われなければ生じなかったポジティブなインパクト、環境改善効果等）についても記載してください。
（可能であれば、業界レベルにおいてどのような位置づけになるかを明記してください。）

|  |
| --- |
|  |

1. 上記で記載いただいた以外の環境・社会に重大なネガティブインパクトを与えるものではないことの確認を実施していますか。実施している場合、実施している方法を記載してください。また、重大なネガティブインパクトが生じうる場合の対応策について定め、開示している場合には記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. 調達資金の使途や、資金調達のフレームワークやスキームに関する新規性や独自性について記載してください。また、その新規性や独自性がどのようにESG金融の拡大に寄与しているか、記載してください。なお、ここでの新規性には、自社にとって新たな挑戦であり、今後の行動様式にポジティブな影響を与えることにつながるような場合も含んでいます。

|  |
| --- |
|  |